

# 『保健管理センターファクトブック I』

(強み・特色編)

- 
1. 他大学・他学部にはない独自性 (強み) . . . P 1
  2. 最近における特記事項 . . . P 2
  3. 地域貢献 . . . P 3
  4. 各界・メディア等で活躍している教員・卒業生 . . . P 3

## 1. 他大学や他学部等にはない独自性（強み）

■神戸大学では保健管理センターの中に「からだの健康相談」と「こころの健康相談」を開設し、特に「こころの健康相談」を希望する者にとっては心理的に来所しやすい環境を整えている。前者を担う内科医師と後者を担う精神神経科医師・非常勤カウンセラーとの連携もとりやすく、心身両面でのケアを併せて受けることができることにも繋がっている。また、男女の医師・非常勤カウンセラーを配するとともに、非常勤カウンセラーは学内外の複数の有資格者に委嘱するなど相談内容の多様性に対応できる体制をとっている。

■平成20年度に麻疹登録制度として始まった麻疹・風疹登録制度は、全ての学生に「予防接種実施証明書」または「抗体検査結果証明書」を提出させてコンピューターシステムに登録し、「登録済証」を発行の上、麻疹・風疹流行時には「登録済証」を持った学生にのみ授業への出席や課外活動への参加を認めようとするもので、大学における麻疹・風疹対策のモデルとなっている。（平成21年4月3日付 朝日新聞朝刊掲載）

■「感冒様症状者に係る届出制度」を制定し、感冒様症状者に関する学内サーベイランスを継続的に実施することによって、新たな新型インフルエンザ等の感染性疾患が流行した際には学内における速やかな流行状況の把握ができる体制をとっている。また、職員へのインフルエンザワクチン接種も実施している。

■地域歯科医師会との連携によって学校保健安全法等において欠如している口腔領域の健康診断を本学学生が受検できるようにした大学生歯科無料健診の実施（平成23年度から）、有機溶剤・特定化学物質に係る学生特別健康診断の実施（平成22年度から）、国の掲げる「心と身体の健康づくり運動」（THP：Total Health promotion Plan）を学生も対象として実践に移し「若い頃からの継続的で計画的な健康づくりを進める」THPルームの開設（平成23年6月）など、健常人の健康増進も含めた総合的な保健管理をめざす独自の取り組みを行っている。

■「健康診断受検済証」の交付（平成15年度から）・携帯電話掲示板を用いた未受検者への健康診断証明書の提出督促（平成23年度から）・分散型職員健康診断の実施（平成17年度から）等の取り組みによって高い健康診断受検率が維持されている（平成26年度の学生健康診断の受検率は大学院生等も含め82.8%、職員一般定期健康診断の受検率は98.8%）。

■長時間労働者に対する面接指導は法定（時間外労働時間が100時間を越えた者のうち希望者）よりも厳しい基準（時間外労働時間が80時間を越えた全ての者）に基づいて実施され、その結果、複数の職員が心身の健康障害から就労中断となる事態を免れている。また、産業医職場巡視や巡視結果を受けての改善によって安全で快適な修学・就労環境の創出や震災対策を図っている。

■「AIDS HANDBOOK」、「子宮頸癌予防ハンドブック」、「キャンパスでの結核対策マニュアル」の編集・作成の他、第50回全国大学保健管理研究集会（主催：神戸大学、公益社団法人全国大学保健管理

協会)での国際シンポジウムの開催を日米英の大学保健管理協会の交流の契機とするなど、全国大学保健管理協会・国立大学法人保健管理施設協議会における活動を通じて大学保健管理の質的向上・発展に寄与している。

## 2. 最近における特記事項

### ◆平成 19 (2007) 年度

- 長時間労働者に対する面接指導を開始（産業医職場巡視の開始は平成 16 (2004) 年度から）

### ◆平成 20 (2008) 年度

- 麻疹登録制度を制定し運用開始。

### ◆平成 21 (2009) 年度

- 保健管理センター楠分室を開設。
- 麻疹・風疹登録制度を制定し運用開始。
- 職員に対する 4 種抗体検査（麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎）とワクチン接種勧奨を開始。
- 「感冒様症状者に係る届出制度」を制定。感冒様症状者に関する学内サーベイランスを開始。

### ◆平成 22 (2010) 年度

- 有機溶剤・特定化学物質に係る学生特別健康診断を開始。
- 灘区歯科医師会と大学生歯科無料健診を開始。

### ◆平成 23 (2011) 年度

- THP ルームを開設。

◆平成 24(2012)年度

- 第 50 回全国大学保健管理研究集会を主催。

### 3. 地域貢献

神戸市保健所ならびに神戸市各区保健福祉部と連携した感染症対策（灘区感染症対策連絡会、等）

灘区エイズ対策推進協議会委員

兵庫県健康教育検討会議委員

大阪拘置所にて矯正医療に協力

公立学校共済組合北陸中央病院にて公立学校教職員のメンタルヘルス向上に対する様々な施策に協力

国立大学法人保健管理施設協議会エイズ・感染症特別委員会副委員長、国際交流委員会委員

（国立大学法人保健管理施設協議会 発行の「AIDS HANDBOOK」、「子宮頸癌予防ハンドブック」、「キャンパスでの結核対策マニュアル」の編集・作成に従事）

### 4. 各界・メディア等で活躍している教員・卒業生

該当なし

# 『保健管理センターファクトブックⅡ』

## (沿革・構成編)

---

1. 沿革・設置目的	・・・ P 1
2. センター長	・・・ P 1
3. 副センター長	・・・ P 1
4. 構成	・・・ P 2
5. 予算規模	・・・ P 2
6. 校地・校舎等の状況	・・・ P 3
7. ミッション（教育研究上の目的、設置の趣旨目的）	・・・ P 3
8. 教育上の取組	・・・ P 3

## 1. 沿革・設置目的

### ◆昭和 43 (1968) 年神戸商船大学保健管理センター設置

#### 《設置目的》

神戸商船大学の学生及び職員の心身の健康に関する専門的業務を行う

### ◆昭和 45 (1970) 年神戸大学保健管理センター設置

#### 《設置目的》

神戸大学の学生及び職員の心身の健康に関する専門的業務を行う

### ◆平成 15 (2003) 年神戸商船大学保健管理センターを神戸大学保健管理センター深江分室に改組

#### 《設置目的》

神戸大学と神戸商船大学の統合に伴う措置

### ◆平成 19 (2007) 年楠地区保健管理室設置

#### 《設置目的》

楠地区の学生及び職員の心身の健康に関する専門的業務を行う

### ◆平成 21 (2009) 年楠地区保健管理室を神戸大学保健管理センター楠分室に改組

#### 《設置目的》

楠地区における保健管理業務のさらなる充実を図る

## 2. センター長 (H27. 5. 1 現在)

### ◆馬場 久光

(61 歳 専門：応用健康科学，内分泌学，代謝学，内科学，産業衛生，学校保健)



## 3. 副センター長 (H27. 5. 1 現在)

該当なし

## 4. 構成 (H27.5.1 現在)

### ◆神戸大学保健管理センター

- ・目的 保健管理に関する専門的業務を行い、本学における学生及び職員の健康の保持、増進を図ることを目的とする。
- (1) 保健管理についての専門的調査・研究や、健康教育・健康に関する啓発活動を通じ、疾病の予防と早期発見に努めること
- (2) 保健業務の円滑な実行に関して計画し、疾病の予防と早期発見に努めること
- (3) 健康診断とその結果に基づく再検査・精密検査、保健指導、必要に応じた病・医院への紹介等を通じ、疾病の予防と早期発見・早期治療に努めること
- (4) 健康相談（「からだの健康相談」、「こころの健康相談」）を通じ、心身の健康を病む学生や職員の早期発見・早期治療に努めるとともに、学内で発生した急な病気や事故に対し、救急処置を行うこと
- (5) 学生及び職員の健康の保持増進の観点から、学内の環境衛生及び伝染病予防において必要な措置について指導助言すること
- (6) 労働安全衛生法等の規定に基づく産業医活動を行い、安全衛生上の問題点の把握や、その改善に向けた勧告を行うこと
- (7) その他健康の保持増進についての必要な専門的業務を行うこと

#### ○ 保健管理センター深江分室

平成 15 年 10 月 1 日設置

#### ○ 保健管理センター楠分室

平成 21 年 10 月 1 日設置

## 5. 予算規模

平成 26 (2014) 年度

運営費交付金等	172 百万円
外部資金	1 百万円
総計	174 百万円

- ※1 各部局における予算執行額を予算規模としている（ただし、設備整備費補助金・施設整備費補助及び目的積立金は除く）。
- ※2 百万円未満を四捨五入して計上。（百万円未満は「0」で記載している。）

## 6. 校地・校舎等の状況

◆建物の延べ床面積	1048.8 m <sup>2</sup>
○ 六甲台	769 m <sup>2</sup>
○ 深江分室	230.8 m <sup>2</sup>
○ 楠分室	49 m <sup>2</sup>

## 7. ミッション（教育研究上の目的、設置の趣旨目的）

保健管理センターは、保健管理に関する専門的業務を行い、本学における学生及び職員の健康の保持、増進を図ることを目的とする。

## 8. 教育上の取組

海事科学部における「船舶衛生」講義（前期 15 コマ）  
 医学部におけるチュートリアル講義（前期 2 コマ）  
 全学生・職員を対象とするエイズ講習会（前期 2 コマ、後期 2 コマ）

その他、滋賀県立大学における「社会精神医学」講義、関西国際大学における「精神医学」講義、「職場の安全衛生」等の学内研修、など。

『保健管理センターファクトブックⅢ』  
(データ・資料編)

---

1. 本務教員数 … P 1

2. 教育研究上の活動状況等 … P 2

# 1. 本務教員数

## ◆年代別本務教員数

年代	職 名				
	教授	准教授	講師	助教	助手
20代	0	0	0	0	0
30代	0	0	0	0	0
40代	0	0	2	3	0
50代	0	1	0	0	0
60代	1	0	0	0	0
計	1	1	2	3	0

## ◆出身大学別本務教員数

大学名等 専攻名	神戸大学	その他の 大学
	4	3 (0)
合 計	4	3 (0)

## ◆外国人教員数

アジア	北米	中南米	欧州	アフリカ	オセアニア	計
0	0	0	0	0	0	0



## 2-2 研究業績の状況

## ○保健管理センター

## ◆主な業績数

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成27年度
論文数	15	12	7	4	3
論文の被引用数					
著書数	4	9	0	0	1
研究発表数	14	27	14	6	14
特許出願件数(国内)	0	0	0	0	0
〃 (PCT)	0	0	0	0	0
〃 (各国)	0	0	0	0	0
特許登録件数(国内)	0	0	0	0	0
〃 (外国)	0	0	0	0	0
発明件数	0	0	0	0	0
芸術作品・技術作品等数	0	0	0	0	0